

帝キネ現代映畫

六花

原作者

脚色者

監督者

餅屋

その妻

朝鮮船屋

その妻

暴力團長

主要役割

吉田

露之助氏

鶴井

八重子娘

高橋

武利氏

藤間

歌川

英林太

子郎氏

眞写
濱田格豐氏帝キネ亀井清一氏作品。
作氏歌川八重子娘旭輝子娘よ

解説——「残された魂」について亀井清一氏が監督製作した現代劇である。同じ長屋に住む餅屋と朝鮮船屋とは必ず氣強い女房の爲めに虐げられてゐた。日打連れて稼ぎに出た二人は到る處で失敗し遂に賃貸道具迄紛失させた。夜更けてコツコツ我が家へ辿り着いた時家では女房が長屋の女達を集めて亭主成政の演説をしてゐた。この有様に二人は近所の暴力團長に力を借りる所へ行つた。團長はその不甲斐なさを罵りめに力を貰さうと得意になつた。所へ歸つて來た女の夫房は怒りかくと餅屋の家へ告げた。たの女房はそのままの有様に立つて呆然と立ちつくすのみであった。